

## 令和7年度（2025年度）第4回熊本市学校給食運営協議会会議録（要旨）

- 1 日時：令和8年（2026年）2月12日（木）午後3時00分から午後5時00分まで
- 2 場所：SPring 熊本花畑町ビル7階会議室（熊本市中央区花畑町9-6）
- 3 出席委員（敬称略）  
秋吉 澄子（議長）、梅田 隆弘、河原さおり、清川 綾乃、坂本 準、中山 和臣、  
山下 明日香、吉村 美奈子、
- 4 次第
  - （1）開会
  - （2）事務局（健康教育課）挨拶
  - （3）議題
    - 議題1 視察（調理・洗浄）について
    - 議題2 試食等について
    - 議題3 その他
  - （4）閉会
- 5 会議録  
要旨は次のとおり

## 会議録（要旨）

### 【議題 1 視察（調理・洗浄）について】

秋吉議長：各委員より、視察での意見をお願いしたい。

梅田委員：床のひび割れなど建物の老朽化が気になった。爪ブラシはその日の出勤者のみ出してあって、衛生管理はきちんとされていた。汚染区域・非汚染区域の行き来が多いように感じたが、エプロンを変えたりなどされていた。

清川委員：床が濡れないようにされている様子が見られた。洗浄の際も床の水をとっていたりなど、作業が綺麗だと感じた。物もあまり落としていなかった。別の調理場では、清掃用具を床に直置きしている調理場があったため、そこは気になった。調理後はすぐ蓋をするのが見られた。配膳・配送の記録もできていた。

中山委員：ハード面が大変な中、良く工夫している。コミュニケーションが良くとれていてそれでカバーできている。検品の様子が見れない。異物混入が気になるため、見れるようになるといいと感じた。

坂本委員：手際が良く感心した。いろいろなマニュアルがあつてそれに沿って作業されていることに感謝したい。刃こぼれの確認、手洗いの確認がチェック項目にあるが、確認が難しいと感じた。

河原委員：自分の役割でそれぞれ動くことができていた。施設が古いということがあって、作業台を木で補修していたのが気になった。木は調理場に持ち込まない方がいい。異物混入が心配。毎日いると気づかない点、上の捕虫器に誇りがたまっているとか、テープが貼ったままになっているなど、定期的に違う視点で点検すると見えるものがあると感じた。刃こぼれのチェックもきちんとされていた。調理場内が狭いと移動式の機械器具が多くなるためか、シンクなどの排水溝の位置がずれていた。全体的にはきちんとされているという印象。

山下委員：小学校は、ドライ改修していない中で丁寧な作業をされていた。チームワークがとてもよかった。気になったのは、視察があつたのでなんでも早めにと思われたのか、予定よりもずいぶん早く作業が進んでいた。一つ一つの作業はとても丁寧だった。共同調理場もチームワークがよく整然とスムーズに動いていたのが印象に残っている。割卵もあつたがきちんとされていた。

吉村委員：下処理に 4 人、上に 2 人くらいで作業されていた。チーフ一人で他の作業を回していた。柿を切り終わったのが配食直前だったので、もう少し段取り良くできたのではないかと感じた。機械洗浄した後に白衣のまま洗浄してそのまま他の裁断に入っていたのでそれはどうかと感じた。共同調理場はその都度清掃もできていた。

秋吉議長：年に 1 回の柿なますで柿を切るのに時間がかかってなかなか終わらなかったなと感じた。食数のわりに狭い印象。食器洗浄機も調理室の中にあつてカーテンを引いて上手に運用されていた。塩分タブレットなども購入して置かれていた。タイミングによって確認できない刃こぼれとか手洗い、区域間の移動などは確

認が難しかった。共同調理場は、作業しやすい施設の印象。チームワークよく先のことを考えながら作業進めていた。当日、揚げ物があり、食数も多いので2時間揚げっぱなしで大変そうだった。

秋吉議長：それでは、質疑応答に移る。

秋吉議長：中山委員から検品を見れないかという意見があったが、検品の現場を見ることはできるか。

山下委員：9時までには物資がほとんど届いている状況。その日に使用する乾物やフライ用の魚の異物確認であれば朝早い時間に限らないのでそれをチェックしてはどうか。

中山委員：チェック項目に入っていると委員も気にして見ると思う。登校時間と重なるので8時半より早くの集合だと安全面が心配。

事務局：スクールゾーンの対応では少し早い集合をお願いすることもある。異物確認についてチェック項目への追加を次年度検討したい。

秋吉議長：エアコンはついてないところはあるか。エアコンはついたが、ドライ改修工事の予定はあるか。

早樋主幹：エアコンは今年の夏前にはすべて設置が完了する予定。ドライ改修はR4が最後。調理場の集約の計画があるため、ドライ改修は止まっている。

山下委員：刃こぼれのチェックについては、やっている調理場ではかなり頻繁にしている。チェックしている声がこまめに聞こえて来てもおかしくない。食材が変わると、釜が変わるとなど頻繁に行っているはず。

吉村委員：チェックするときは、「大丈夫です。」周りにいた人が「はい」という感じ。

秋吉議長：そういった場面はあまり見られなかった。

河原委員：わたしが視察に行った先は年に1回の大変な献立の日だったが、その日に視察を設定したのは意図的か。

事務局：特になかった。

吉村委員：柿なますは、少し柿が多かったように感じた。量を調節すれば作業負担が軽減されるのではないかと感じた。

吉村委員：エアコンのフィルターが真っ黒だった。順次エアコンが設置されているが、フィルターの汚れはどうすればよいか。

事務局：定期点検の業務委託に盛り込みたいと考えている。

秋吉議長：意見が出そろったため、議題2へ移る。

## 【議題2 試食等について】

秋吉議長：各委員より、試食の感想をお願いしたい。

梅田委員：見た目が暗く感じた。具たくさんで食べ応えがあった。

清川委員：小学校はいわしのおかか煮は食べやすかった。柿なますは食感、切り方ちょうどよかった。見た目も綺麗。適温だった。共同調理場はうずらの卵がくずれて

なくて綺麗だった。もやしの食感がよかった。

中山委員：野菜のサイズがちょうどよかった。食べやすいし、野菜のうまみを感じられる。和風スパゲッティもおいしかった。

坂本委員：おいしかった。ココアパンの残食が多かったのに驚いた。

河原委員：さんまのみぞれ煮はおいしかった。骨ごと食べれるようにしてあったり、味が濃い目なので他の献立は味が薄めになっていて工夫がされていた。だが、苦手な子も多く、教室を回ったときに、先生に減らしてもらっているのを何回か見かけた。減らしたものは残菜になってしまうのではないか。できれば最初から苦手な子には少な目についだらいいのではないかと感じた。

山下委員：人参が細くしてあってよかった。残食も少なかったように感じた。ブルーベリージャムだ！と喜ぶ声が教室から聞こえてきた。共同調理場はいわしはしょうがの風味がきいていた。あえものも食感がよくおいしかった。

吉村委員：味も見た目もよかった。いわしのおかか煮はグラムが同じなので1年から6年まで同じグラム数なのが気になった。

秋吉委員：いわしのおかか煮はご飯がすすむ味だった。すいとん汁のいりこだしはとても立派ないりこが使われていた。共同調理場は、いわしの四川風味は香りがとてもよかった。スーミータンはかきたまを上手に作られていた。味もよかった。

秋吉議長：質問があればどうぞ。

山下委員：さきほど「いただきます」の後に量を減らしていたという話があったが、食べる前であれば調整できる。減らしても他の子がおかわりなどすれば残菜にはならない。

中山委員：最初に全員同じ量をついで、「いただきます」をしてから、減らしたい人がまず減らして、次にもっと食べたい人が取りに来るとというのがよくある光景。

秋吉議長：食べる量は個人差がある。

河原委員：魚が苦手な子が多いのが気になった。食べ慣れてないのかもと思った。

### 【議題3 その他について】

事務局：議題3「その他について」事務局より説明。

事務局：「評価用資料の内容」について説明。

事務局：「評価報告に向けた今後のスケジュール」について説明。

秋吉議長：なにか質疑、意見等あるか。

坂本委員：評価が1のところがあって気になる。評価が1は改善できているのか。人員配置とかの対応の項目。早急に改善が必要。

事務局：事務連絡会議の中でも人員配置を要望する声がよくあがっている。受託業者には働きかけはしており、その都度指導しているが、会社も調理員募集はしているがなかなか応募が集まらないという状況の調理場も多い。

坂本委員：人手不足については給料を上げてもらわないといけないのではないかと。

事務局：予算は年々増額しているが、業務委託なので受託会社の雇用については介入が難しい。

秋吉議長：けっこう評価に差がある。

中山委員：給食調理に限ったことではないが他の県と比較しても、給与水準を見直してほしい。けがや事故が心配。

吉村委員：給食無償化については、職員の給食は対象外か。

事務局：対象外になる。

秋吉議長：人員を集めるのは大変。委託の栄養士の給与は上がっていると話を聞く。

河原委員：調理師の免許証の再発行の申請は最近とても多い。

河原委員：「標準的」が悪い意味ではないような印象を受ける。これの聞き方を工夫したら、その上の「どちらかといえばいい」などのいい評価を選ぶ人が増えるのではないかな。

中山委員：「どちらともいえない」のほうがいい。

事務局：来年度変更するよう検討します。

坂本委員：ナイストライは是非もっと多くの調理場に受け入れてほしい。

秋吉議長：ナイストライはどのように決まるのか。

山下委員：配送校から共同調理場に打診があっていた。その調理場で受け入れられる態勢があるかどうか、配送校からのナイストライの要望があるか希望者がいるかによる。

秋吉議長：本日予定していた議事については以上である。

これをもって、第4回学校給食運営協議会を終了する。